

〈日本 SPF 豚研究会誌〉

「All about SWINE」投稿のお願い

SPF 豚の普及に役立つ調査・研究論文および防疫、飼養、流通、消費等に関する解説・資料等の原稿を募集しております。下記要領にご留意の上、ご投稿下さい。

1. 原稿は原則としてワープロを使用してA4用紙に22字×33行、横書きで作成して下さい。手書きの場合は、原稿用紙を送付しますのでご請求下さい。
2. 原稿の1枚目には表題、投稿者名、所属機関名（郵便番号および住所）を記して下さい。2枚目以降の記述形式は特に定めませんが、資料等を引用した場合は末尾に「参考資料」または「引用文献」の項目を設けて下さい。
3. 表は原則として縦罫線を使用せず簡潔なものとし、また図はそのまま印刷が可能なように白色紙または方眼紙に黒色で記入して下さい。写真は原寸印刷が可能なように原則として横7cm程度、縦7cm以下として下さい。
4. 原稿の送付先は当分の間「〒305-0856 つくば市観音台3-1-5 独立行政法人・動物衛生研究所 小林秀樹」までお願いします。

【編集後記】

新年早々デジタルカメラを盗まれた。公私30回以上の出国で初めてモノを盗られ、安物とはいえ非常にショックであった。と同時に画像でものを記録する手軽な手段を失いとて困った。携帯電話を忘れると非常に不安になる人も多いと聞く（私はいつも不携帯だけれど）。いずれも無くても何とかなるものだし、少し前までは無くてやってこられたものだった。便利になるとそれがベース

となり、またさらに便利になる。現在、だいたいの便利グッズはデジタル化されたもので、便利の獲得には老化しつつある脳細胞を活性化させねばならずそのたびにストレスを感じる。

デジタルグッズは故障するとユーザーはほとんどの場合修理できない。だから修理する必要もなく使い方だけを覚えればよい。アナログ製品はどこが故障したかわかることが多く、修理も可能であり、その過程で様々な原理の学習や工夫に磨きがかかる。デジタル化社会に漬かっているとアナログ品も同じように壊れたら捨てる感覚になりそうだ。ちょっと修理すれば簡単に直るものでも、壊れた結果だけで処分ではもったいないお化けに怒られそうである。さて、あなたは豚がデジタルだと思います？アナログ？それとも…。

（小林秀樹）

「All About Swine」

第28号 2006年2月発行 定価1,500円  
 発行所 日本 S P F 豚 研 究 会  
 〒305-0856  
 茨城県つくば市観音台3-1-5  
 動物衛生研究所  
 事務局 (株)伊藤忠飼料研究所  
 予防衛生チーム内  
 〒325-0103  
 栃木県黒磯市青木 919  
 Tel : 0287 (64) 3652  
 Fax : 0287 (63) 8384